

GIII vol. 145 熊本市現代美術館開館 20 周年

「CAMK ポスター大回顧展」

開催報告



GIII vol. 145 熊本市現代美術館開館 20 周年

CAMK ポスター大回顧展

会期 2022 年 6 月 8 日 (水) - 8 月 21 日 (日)

会場 熊本市現代美術館 ギャラリー III + 井手宣通記念ギャラリー

2002年に開館した熊本市現代美術館は開館20周年を迎えた。本展では開館から2022年までに開催した展覧会のポスターを一堂に展示することにより、20年間の展覧会を振り返った。

作品として所蔵している松永壮《ATTITUDE2002 ポスター原画ポートフォリオ》とともに、展覧会ポスター101枚を開催順に展示した¹。解説パネルでは、生人形に関する調査・研究や地理的にも近い同時代のアジアへの注目、専門的な美術の領域にとらわれない多様な表現の紹介といった当館の展覧会の特徴を具体的な展覧会名を挙げて記した。

展覧会ポスターの展示のほかに、本展が過去のアーカイブに留まらないよう三つの工夫を行った。

一つは、本展と同時期にギャラリーI・II（大展示室）で開催していた「和田誠展」の印刷関連資料を展示したことである。8種類のデザインを面付けした状態のままの「『和田誠展』チラシ裁断前」と、ポスター印刷の工程で使用した「『和田誠展』ポスター刷版」（CMYK4種類）を展示することで、展覧会ポスターや広報物がどのような工程で制作されているのかを紹介するとともに、現在も展覧会を企画・開催中であり、続いていることを示した。

二つめの工夫は、本展の次に同会場で開催する展覧会GIII vol. 146 熊本市現代美術館開館20周年記念「Our Attitudes」を紹介するコーナーを設けたことである。開館記念展「ATTITUDE 2002」のタイトルを参照した「Our Attitudes」は、1980年代生まれの熊本出身作家によるグループ展である。「CAMK ポスター大回顧展」では、「Our Attitudes」の出品作家4人のポートレート写真とともに、展覧会の主旨をパネルで紹介し、予告した。また「CAMK ポスター大回顧展」会期中には、過去に鑑賞した展覧会のポスターを背景に、「Our Attitudes」出品作家が当時の記憶を振り返るインタビュー動画を撮影した。「ATTITUDE 2002」からはじまり「Our Attitudes」への流れを汲むことで、二つの展覧会の主旨を示し、開館20周年企画としての連動を図った。

三つめは、残部のあった展覧会ポスターを自由に持ち帰れるよう「プレゼント」として設置したことである。開館20周年の祝賀感を演出し、8月6日までに272枚を配布して終了した。

展示だけではなく広報面でも、展覧会の概要テキストと当時の会場風景等の画像とで、20年間の展覧会を連載形式で紹介した。Twitterは20年分を20本に、FacebookおよびInstagramは4回に分け、会期を通じて投稿した。

本展は、多くの人にとってはまだ記憶のある20年間をあらためて振り返る機会になった。

編集：池澤茉莉（熊本市現代美術館学芸員）

註

- 1 本展ではギャラリーI・IIで開催した展覧会のポスターを展示した（「熊本アートパレード」「華人展」を含む）。保存の都合から一部の展覧会ポスターは未陳とした。また8月5日に第34回熊本アートパレード1点を追加した。

展示風景

